

川で伐採した樹木が動物たちのエサになる！？

～帯広河川事務所とおびひろ動物園が、河川の伐採樹木提供の協定を締結～

帯広河川事務所では、河川管理や工事の実施にあたり、河川に繁茂した樹木の伐採を行っています。伐採する樹木には、おびひろ動物園で飼育されている動物がエサとして好む樹種が含まれています。伐採した樹木の継続的な提供に向け、今般、おびひろ動物園と協定を締結することとしたのでお知らせします。

7月13日、帯広河川事務所長及びおびひろ動物園長が協定に署名を行うとともに、同日、協定に基づく初回の樹木提供を実施します。なお、これらの様子は、報道機関のみなさまに公開して実施いたします。

協定の概要

- 協定の目的：通常、河川工事等で発生する伐木については、必要な費用を支払い処分する必要があります。帯広河川事務所では、これまでも、資源の有効活用とコスト縮減の観点から、バイオマス燃料（チップ）化のため、伐木を帯広市に提供する等の取組を行ってきました。こうした取組を拡大し、今後は、動物園における動物のエサとしても活用していくことを目指します。
- 協定の期間：令和4年7月13日から令和5年3月31日（双方に問題がなければ、その後も継続予定）
- 提供樹種：河川工事等で発生する樹木のうち、動物のエサとなるヤナギ類等（発生が見込まれる際に、動物園側の要望を聞き取り調整）
- 提供方法：工事受注者が動物園の指定する場所へ搬入

今回実施する樹木提供

- 対象工事：十勝川改修工事の内 祥栄橋上流河岸保護工事
- 工事受注者：西江建設 株式会社
- 搬入樹種等：ヤナギ約0.3トン
（アメリカビバー、ニホンザルなどのエサとして利用予定）

取材募集

当日の取材を希望される場合は、前日の7月12日（火）17時までに、下記の間合せ先までご連絡ください。ご参加をお待ちしております。

- 集合日時：7月13日（水）9時30分
- 集合場所：おびひろ動物園 管理事務所前

